

## 薬学部 薬学科

### 教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各学科・コースは、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、以下 CP）に基づき、それぞれの特色を活かした教育方法による授業を行っています。さらに、資格取得科目の充実など、教育方法に工夫を重ねながら、教育内容の向上に取り組んでいます。また、大学全体として、全学部生が共通して履修する必修科目、「フレッシュセミナー」「アドバンスセミナー」においては、少人数教育を実践しています。セミナー担当教員は、各学部・学科・コースの CP に基づく学修指導の他、学生生活全般にわたる指導を行っています。これにより学生は、社会人として求められる常識や教養等の汎用的能力と、各自の専攻分野や関心領域に関わる幅広い知識をバランス良く身につけることができます。この「セミナー」は、キャリア教育の一環として、学生の様々な相談にも応じています。

#### 【教育方法】

平成 27 年度に改訂された薬学教育カリキュラムは、いわゆる学習成果基盤型教育による薬物治療の専門職育成を目標にしています。この新しい教育では、卒業時に備えるべき薬剤師としての基本的資質を明確にすると共に、医療人としての心の教育「態度教育」を、特に大切にしています。本薬学部では、帝京平成大学の建学の精神に則って設置されている「セミナー科目」を活用し、高い倫理観や広い社会的視野を備えた医療人を育成します。セミナー科目では、改訂カリキュラムにある「医療人としての基本事項」と「薬学と社会」について 6 年間にわたって学びますが、それらセミナー科目の内容は、各学年の専門科目や薬学臨床科目とも関連付けられています。また、初年次においては、薬学教育にスムーズに馴染めることや、高学年では基礎科目と薬学専門科目、更には薬学専門科目同士の関連付けもでき、学びの道筋をよく理解できるよう配慮しています。加えて、卒業前から、多職種連携に対する理解を深めるため、特に看護学科との連携教育を拡大していきます。

#### 【教育の特色ある工夫】

- ・平成 27(2015)年度、薬学教育のモデルコアカリキュラムが改訂され（以下「改訂カリ」という）、合わせて「薬剤師として求められる 10 の基本的な資質」が示されました。
- ・爾来、これらの資質を outcome とする、所謂、学修成果基盤型教育を推進しています。特に、改訂カリの大項目 A「基本事項」、B「薬学と社会」については、本学に独自のセミナー科目（9 科目、18 単位）において 6 年にわたって学び、「基本的資質」に示された「薬剤師としての心構え」「患者・生活者本位の視点」の涵養を主眼としています。

- ・それらセミナー科目では、同学年の他の科目との関連性も考慮して GIO(General Instructional Objective：一般目標)を掲げ (1 年、薬剤師倫理、及び薬剤師プロフェッション；2 年、地域社会と医療、及びコミュニケーション；3 年、医療リスクと倫理、及び環境情報倫理；4 年、薬剤師の行動規範；5 年、薬剤師のモラルジレンマ；6 年、薬剤師プロフェッショナルリズム)、関連知識の修得と授業内での活用(設定課題に関する SGD(Small group discussion)と発表などの能動的学修)を組合せ、個々の GIO に関する深い学びを実現できるよう工夫しています。
- ・特に 1 年次では、本学部が位置する地域の医療に携わる、様々な医療職から在宅の看取りなどに関する講演を伺い、医療職はもとより、患者・家族の心にも触れる大切な機会としています。
- ・それらの学びの履歴を学修ポートフォリオに収め、時々振り返って自らの成長を自覚し、また、担任教員は、個別面接の折にルーブリック評価なども利用して成長を後押ししています。